岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　主要地方道　千代田八千代線　道路改良事業に伴う設計業務委託

事　業　・　工　事　名　令和4年度 主要地方道　千代田八千代線道路改良事業に伴う設計業

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.6	調査位置	広島県山県郡北広島町南方	北緯	34° 35’ 40.5800″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和5年 3月 1日～ 令和5年 3月 9日	東経	132° 34’ 02.1600″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 303.97m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	62° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	㈱東邦製DO-D型
総削孔長	11.00m								エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm／h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L／min)	排水量 (L／min)
1				礫混じり砂	暗茶～淡茶灰							CL 0 1 100	表層10cm程度は腐植物，草・根混入。	0.30	0 10 20 30 40 50 60	2	1.15	2					3	50	66／ケーシング	ダブルチューブコアバイト	0	100	0	W5	3
2												CL 0 1 100	細砂～細粒土を主体とし，やや粘性有り。	3/3 1.70 2.00			1.45														
3	300.67	3.30										CL 0 1 100	φ5～20mm程度の角礫を混入する。 道路盛土混在する。			3	2.15	3													
4				崖錐堆積物	淡茶灰							CL 0 1 100	砂・細礫を主体とした風化土およびクサリ礫で構成されている。			19	2.45	19													
5												CL 0 1 100					3.15														
6	297.67	6.30										CL 0 1 100	比較的硬質なブロック～岩片状（L=100～150mm）の玉石点在。			26	3.45	26													
7	295.57	8.40		流紋岩	淡緑茶	w3	h2	D	Ⅳ	c	D	CL 0 1 100	全体的に風化・亀裂が進行し，変色した礫～岩変状コアを主体としている。	3/6 1.70 2.00		50以上	4.15	26													
																	4.45														
																50以上	5.15	50	90												
																	5.24		90												
																50以上	6.15	50	250												
																	6.40		250												
																50以上	7.00	50	50												
														3/6 1.70 2.00			7.05	50													
																50以上	8.00	50	30												
	295.17	8.80		流紋岩	赤茶褐	w4	h4	E	Ⅶ	d	D	CL 0 1 100	全体的に風化・亀裂が進行し，変色した礫～岩変状コアを主体としている。 亀裂は開口しており，亀裂間は細礫化している。 亀裂は，高角亀裂と低角亀裂が混在しており，これら亀裂交差部は軽打にて容易に砕ける。 掘削水は，全逸水する。			50以上	8.03	30													
																	9.00	貫入不能													
																50以上	10.00	貫入不能												
																50以上	11.00	貫入不能												
	292.97	11.00		流紋岩	暗青	w2	h2	C	Ⅲ	b	CL	CL 25 48 100 CL 17 27 100	岩組織を一部残すが，全体的に赤褐色に変色し粘土化している。 粘性やや強い。 コアパック開放時に粘土部分が若干膨張した。																			
8													比較的新鮮で硬質で岩片～短棒状で採取される。 亀裂が発達しており，亀裂面は褐色に変色している。（掘削水全漏水） 亀裂角は5～30°程度を主体とする。 亀裂間には，細礫状となる箇所が見られる。 観察による岩級区分は，概ねCL級となる。 所々，花崗岩質のものが取り込まれている。	3/7 9.75																		
9																						8.40 X線 8.80									
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															